

中間のまとめヒアリングで寄せられた意見一覧

論点	関連する委員意見	会議内での対応に関する意見
■計画の位置づけ		
この計画は市民の計画ではなく行政の計画であり、行政が今後10年間で何をするかを明示する必要がある。	本来は市民の活動として取り組むということが重要であり、市は単なる様々な活動団体のファシリテーターでしかない。市の行政の立場からこの「中間のまとめ」が出来たという考え方でなく、市民としての立場から出来たという方向で考えてほしい	
	位置づけとしては行政計画であるので基本的には行政が何をやるべきかを明示する必要がある。ただし、市民活動自体は自主的なものでそれを市が支えるという側面もあり、市民活動促進の在り方でもある。	
市が取り組んでそこに市民が参加するという古い考え方ではなく、市民が主体で活動して、それを行政が側面から支援するという考え方であるべき。		委員会でも市民が主体であり市民の主体性は発揮されているが、行政計画であることとの整合性は今後検討していきたい。
■計画の名称:「促進」の用語の利用		
「促進計画」という名称が適正だろうか。誰が何のために市民活動を促進させるのかもハッキリせず、市民活動活性化基本計画のような名称の方がよいのではないか。		
「促進」というのは、誰かが誰かを促進させると言うことであるが、やはり「共に働きかけながら」というイメージであるほうがよいのではないか。		委員会の中で、早く進める、促成栽培する、といった意図はない。用語については検討したい。
■現行計画の振り返りについて		
現行計画について何も書かれておらず、現行計画との間で何が変わったのかという対比があってもよいのではないか。ただ、拝見したところ、根底に流れているところはそれほど変わっていないのではないか。	前計画との対比について、何を継承したのかがはっきりわかるようにはしたいと思う。	

中間のまとめヒアリングで寄せられた意見一覧

論点	関連する委員意見	会議内での対応に関する意見
■ 現行計画の振り返りについて ※前ページの続き		
<p>今回の新しい計画がどのような特徴を持っているかについて教えてほしい。</p>	<p>一点目は地域課題への地縁的活動を範囲として取り込むことだが、コミュニティセンターそのものについての問題を記載することは見送っている。二点目は協働であるが、これまで行政と民間との間にあった主客の関係を対等にしていくということが必要であると考えている。また、協働そのものも行政と市民だけではなく、様々な主体によるマルチステークホルダーを狙った。</p>	
■ コミュニティ協議会		
<p>コミュニティ協議会について触れられていないのはなぜか。</p>		
<p>コミュニティ協議会については協議会によって違いが大きい。自主三原則によりそこは行政側から触れないところがあつたが、そのことが大きな問題であると感じている。</p>	<p>コミュニティ協議会も含め、地縁的な活動も、NPOのように具体的なテーマを持ってする活動も、同様に市民活動であると考えているが、地縁的な活動は必ずしもコミュニティ協議会だけに収斂されるわけではないため、固有名詞としてコミュニティ協議会の活動だけを具体的に記載していくことを、委員会の中で断念した。</p>	
<p>コミュニティセンターやコミュニティ協議会という言葉が使われていないのは理解したが、コミュニティを中心とした地域活動は今後の武蔵野市の活動の中で非常に重要ではないか。市民にこうした活動が計画の中に含まれるという事はわかるようにした方がよい。</p>		
<p>コミュニティ協議会は、NPO活動を支援するということで構築されている面もある。また、地域に応じて様々状況が異なることから、地域の発展のためにコミュニティ協議会を構築したという側面もある。こうしたことから、今後とも地域の発展に大きく寄与する、しなければいけない存在として、きちんと盛り込むべきではないか。</p>		

中間のまとめヒアリングで寄せられた意見一覧

論点	関連する委員意見	会議内での対応に関する意見
■コミュニティ協議会 ※前のページからの続き		
<p>市民活動団体というものが何であるのか、どういったことを指しているのかということについて、コラムのようなかたちでもきちんと記載した方がよいのではないか。</p>		
<p>地域にはコミセンだけではなく、地域社協といった団体もある。そうしたものにも配慮しながら、市民活動団体とはどのようなものなのか、具体的に整理してほしい。</p>		
<p>自主三原則は重視されるべきではあるが、3.11を踏まえても、改めて、コミュニティセンターの中で住民が活動できるようになっている意味を再考して、最大限その力が生かせる方向に、この計画で持って行って欲しい。</p>		
<p>市民の合意や共通認識を育てる場としては、結局コミュニティ協議会しか場も力も持ち得ないのではないかと考えれば、市民活動団体としての自覚をより促していくようにして頂きたい。</p>		
<p>コミュニティセンターについては、市民活動を育成する場としての役割・機能も大きいと思う。地域にある各コミュニティセンターの存在のあり方ということも、市民においてもう少し考えて行く必要があると思っており、そうしたことが必要であるということも、計画の中で踏まえて頂きたいと思う。</p>		
<p>私が関わっているコミュニティ協議会では、地域にいくつもある活動団体を集めて、ネットワークづくりを初めて、何かあったときにはコミュニティセンターを核として、対応していくといった仕組みづくりに取り組んでいる。</p>		

中間のまとめヒアリングで寄せられた意見一覧

論点	関連する委員意見	会議内での対応に関する意見
■コミュニティ協議会 ※前のページからの続き		
コミュニティ協議会は、将来的には地域の課題について解決し提言できるような組織であって欲しいと思う。		
コミュニティセンターという場所をつかって、コミュニティ協議会が地域の間接組織という性格を持っていかなければいけないのではないか。コミュニティセンターという場所を使うことで、地域から新しい団体が生まれるということもあるだろう。		
■三原則について		
協働について主客関係が対等になると共に、マルチステークホルダーによる協働が成立するということは大変よいことであり、疎うった連携や協働ということについて計画の冒頭で触れるべきではないか。三原則に加えて、連携や協働ということを追加すべきではないか。		
市民活動促進三原則を多少修正しても、協働ということについて触れた方がよい		
■市民活動のステップ		
市民活動には活動が躓いて停滞する時期が必ずある。市民活動を促進する計画であるならば、こうした停滞期が必ずあるということと、それを知った上で中間支援組織や市や、その他の団体からの支援が必要であるということを記載した方がよい。		
現行計画は、必要な支援策を各団体が選ぶというかたちになっている。その必要な支援策を行政側から団体のステップで規定していくというのは無理があるのではないか。	施策と団体のステップについては引き続き検討したい	

中間のまとめヒアリングで寄せられた意見一覧

論点	関連する委員意見	会議内での対応に関する意見
■ 公益活動について		
<p>今回の計画の対象は公益活動ということになっている。例えばそれぞれの地域課題について学習したりそこから実践活動を行っているような団体は、公益活動という対象に入るのだろうか。</p>	<p>公益であるかどうかは、ベクトルとしてみんなで解決することであれば公益であるというのが委員会での見解である。 ここでは考え方として公益・共益・私益を整理していて、実際に支援するときに、評価表みたいなものでチェックするということはあって欲しくないと考えている。</p>	
■ 協働について		
<p>市民としては基本的には行政との協働が基礎となる。その際に、お互いが納得するようなルールの決め方を定めていかないといけない。</p>		
<p>市民協働ハンドブックについては、今はガイドラインのような内容であるため、協働を実行するルールとして作り直すことも必要ではないか。</p>		
■ 施策の方向性		
<p>計画の中ではあまり具体的なところまでは踏み込めないと思うので、取組の実効性をどのように担保するのかという議論は是非盛り込んで頂きたい。かつては、市民協働推進課の責任の下で中間支援機能を持った場をつくり、中間支援組織と協力することでその場を運営して施策を実現するという道筋がわかりやすかったが、ボランティアを担当する社会福祉協議会、協働を担当する市民協働推進課、場を提供する武蔵野プレイスと関係者が複雑化したため、誰が責任を持って強く実行していくのがわかりにくい。この部分を十分に検討した方がよい。</p>	<p>組織の縦割りによって実効性が担保できなくなるようなことは望んでおらず、施策や主体の表現についても検討していきたい。 市民協働推進課は、この計画をマネジメントするという立場であると考えている。 ハード基盤を持っているのが武蔵野プレイス、共同推進は市民協働推進課が担うという構造になっているのが特色であると思っている。この点を踏まえて検討したい。</p>	
■ 実態調査の検討について		
<p>実態調査についてはよく分析を行って、議論して頂きたいと思う(別途パブコメで詳細に頂いている)</p>		

中間のまとめヒアリングで寄せられた意見一覧

論点	関連する委員意見	会議内での対応に関する意見
■今後の進め方		
具体的な施策の内容についても再度市民から意見を募集するようにしてほしい。		
■市民への広報の方法		
今回の会議について周知されていない。		
■その他		
武蔵野プレイスを知的創造拠点とするためには市民の力がぜったに必要であり、運営協議会を早急に設置する必要があるということを、計画中で盛り込むべきではないか。		